

こんなときこそ、映画で元気に！

たまシネマ通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山 (永山公民館内)

代表：042-337-6661 直通：080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

特別増刊号 (2020年4月26日発行)

#おうち映画時間

映画館に足を運ぶことができないなか、どのようにして映画を楽しまれていますか？ テレビや動画、原作本など、おうちでも出来る映画との関わり方は様々です。

TCF 実行委員のおうちでの映画時間の過ごし方、おすすめ作品などをご紹介します。

自宅での引きこもりが続くなか出会ったアイスランド映画『好きにならずにいられない』は、チャーミングな映画でした。少しの勇気をもって一歩を踏み出せば、自分を受け入れる人や場所は見つけることができるのですね。(KA)

セールで買った 32 インチモニターが大活躍。PC 作業には大きすぎたけど、至近距離で大画面気分を満喫しています。音声チップも PC とは段違いで MV も堪能。アマゾンプライム、YouTube、NHK+ をローテーションで楽しんでいます。(JJJ)

家ではどうしても集中できないので、映画よりもアニメやドラマを観る方が多いです。最近では湯浅監督のアニメ版『映像研には手を出すな！』はおもしろかった。実写ドラマも映画も楽しみです。(よ)

映画は基本映画館+WOWOW だったので、昨年末よりようやく Netflix に入り、何これ全部観放題?! ひゃっほう!! となっています(え? 周回遅れ?)。最近では『マリッジ・ストーリー』がよかったです。(お)

日頃から WOWOW と Amazon プライムビデオを活用。最近では全く映画館に行けなくなってしまったので、つい最近 UPLINK Cloud を申し込んでみました。これで引きこもり準備は完了! いつでもどこでも映画のある暮らしを楽しめます♪(こ)

映画の原作、「こんなふうになっていくんだ」「ここは原作そのままなんだ!」「このシーン観たかな?」など、そんな楽しみ方をしています。悩みは原作本を読むと、またその映画が観たくなって、財布がどんどん薄くなります。(に)

今、観たい映画

今年度から TCF に仲間入りした新・実行委員が選ぶ、今観たい「元気になる映画」です。

『リトル・ミス・サンシャイン』

監督：ジョナサン・デイトン、ヴァレリー・ファリス／アメリカ／2006年／100分

U-NEXT

子供限定のミスコンに出たい！という末娘の夢を叶えるために、一癖も二癖もある崩壊寸前の家族が一丸となって奮闘するロードムービー。ファンキー過ぎるおじいちゃんと孫娘のやりとりがおかしくて、愛おしくて、そして深い……。観終わった後、間違いなく元気になる一本です！（こ）

『サマータイムマシン・ブルース』

監督：本広克行／日本／2005年／107分

U-NEXT

Amazon prime

大学生達が昨日と今日の2日間だけを行ったり来たりする“タイムマシン無駄遣い”映画。タイムトラベルものとして非常にスケールが小さく、マシンも笑えるほどチープ。しかし、いくつも張られた伏線が最後に全て繋がる、よく練られた脚本には爽快感を覚えます。軽い気持ちで楽しめる青春SFコメディ。（n）

『シング・ストリート 未来へのうた』

監督：ジョン・カーニー／アイルランド＝イギリス＝アメリカ／2016年／106分

U-NEXT

Netflix

いじめられっ子の主人公コナーが、好きな子の興味を引くためバンドを結成し成長していく物語。

音楽・青春・家族……。そして恋愛とたくさんの素敵なシーンが詰まっています。

『はじまりのうた』ジョン・カーニー監督の半自伝的な物語でもあり、前を向け素敵な気持ちになれる作品です。（K.K）

『ボヘミアン・ラプソディ』

監督：ブライアン・シンガー／アメリカ／2018年／135分

U-NEXT

Amazon prime

※有料レンタル配信のみ

ライブ感覚で観られる映画です。応援上映ではなかったけれど、身体を揺らし、くちパクしながら観ました。

Queen のファンでなくても耳にしたことのある曲がいっぱい！

音楽の素晴らしさを体感できるし、LGBTQ の問題についても考えさせられる作品です。（J）

※動画配信サービスの情報は2020年4月12日時点のものです。

私と映画館

私たちの想いはいつの日も映画と映画館とともにあります。

両

親が共働きであまり遊んでもらった記憶がないのですが、それでも時間を見つけて連れて行ってくれたのは映画でした。当時、映画は映画館のみでしか観ることができませんでしたので、映画館は老若男女様々な世代が集う場所でした。子供心にも見知らぬ人々と映画を観て、笑ったり楽しむという一体感がとても心地よい経験だと知ることができました。その気持ちを体験したい為に、今でも映画を観ているような気がします。（KA）

相

鉄線の天王町駅近くにあった「天王町ライオン座」。いわゆる二番館で、ロードショー公開後3か月程度たった作品を3本立てで上映していた。料金は割引券を使えば700円だったはず。3本立ての組み合わせは大体が邦画のみか洋画のみの組み合わせで、結構いろいろな作品を雑多に観た。『スターウォーズ ジェダイの復讐』もここで観たはず。当時レンタルビデオが一泊二日で1000円程度の時代。今はもうない。（よ）

ミニシアターを、
SAVE the CINEMAキャンペーンを応援します。



TAMA映画フォーラム実行委員会一同

☑ TCFからのお知らせ

支援会員さまを募集しています！

支援会員さま限定の特典をさまざまご用意しております。

詳細はホームページにて。 <https://www.tamaeiga.org/support/>

【支援金寄付 個人会員】 一口1,000円から

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会



たまシネマ通信 特別増刊号（2020/4/26 発行）

※無断転載を禁じます

発行元：TAMA 映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山（永山公民館内）

編集長：野瀬 / 編集：野瀬、永瀬、薄葉、大坂 / デザイン：大坂 / 企画・協力：TAMA 映画フォーラム実行委員会